I·O DATA

ポータブル CD-RW/DVD セットアップガイド

121203-01

本製品をセットアップし、音楽CDを作り、DVDビデオを再生するまでの作業を説明しています。
手順にしたがって作業を行ってください。
本製品のその他の基本操作、Q&Aなどについては、「オンラインユーザーズガイド」をご覧ください。

オンラインユーザーズガイドのインストールと起動方法
①添付の「CDRW+DVDツールズコレクション」CD-ROMをドライブに挿入します。
②自動でメニューが起動しますので、[オンラインユーザーズガイド] ボタンをクリックします。
③画面にしたがってインストールします。
④以下の順に起動します。
[スタート]➡[プログラム]➡[I-O DATA]➡[オンラインユーザーズガイド]➡[××××××.pdf] (××××××は製品名が表示されます。)
※オンラインマニュアル以外でも弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/support/)にてQ&Aを用意しております。本製品が正常に動作しない場合はそちらもご覧ください。

※図は実際とは多少異なる場合があります。

1 内容物を確認しよう

- ☐ ドライブ(1台)
- ☐ ACアダプタ(1個)
- ☐ USBケーブル(1本)
- ☐ 縦置き用スタンド(1個)

- ☐ CDRW+DVDツールズコレクション(CD-ROM:1枚)
- ☑ ポータブルCD-RW/DVD セットアップガイド(本書)
- ☐ はじめにお読みください(1枚)
- ☐ ハードウェア保証書(1枚)

2 インストールする

Windows XPの場合
インストールの必要はありません。
【つなぐ】へお進みください。

Windows 2000/Me/98の場合
はじめて本製品を使用するときは、ドライバをインストールする必要があります。ドライバのインストール終了後、本製品をパソコンに接続できます。

注意 インストールするには、本製品以外のCD-ROMドライブが必要です。本製品以外のCD-ROMドライブが無い場合は、弊社ホームページから「USB 2.0 CCサポートソフト」をダウンロードしてください。

※ここではまだ本製品をパソコンにつながないでください。

❶ すべてのUSB機器(マウス、キーボードを除く)を取り外します。

❷ Windowsを起動します。
※Windows 2000の場合はAdministrator権限でログオンしてください。
起動しているプログラムをすべて終了してください。

❸ 「CDRW+DVDツールズコレクション」CD-ROMを挿入します。
本製品以外のCD-ROMドライブに挿入してください。

❹ 自動で画面が表示されますので、[USB 2.0 CCサポートソフト]ボタンをクリックします。
自動で表示されない場合は、CD-ROMの「Autorun.exe」をダブルクリックしてください。

❺ [インストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。
自動でインストールされます。

注意 右のような画面が表示されたときは、以下の手順に従ってください。
① [OK] ボタンをクリックします。
②パソコンに接続しているすべてのUSB機器を取り外します。
③もう一度、手順❶からやり直してください。

❻ [OK]ボタンをクリックします。

3 Drive Silencer(ドライブサイレンサー)をインストールする

※本ソフトウェアはCDの読み取り速度などを調整し、静かなパソコン環境をご提供するソフトウェアです。
ここでインストールせずに、後でインストールする場合には [つなぐ] へお進みください。

❶ 添付の「CDRW+DVD ツールズコレクション」CD-ROMをドライブに挿入します。

❷ 自動でメニューが起動しますので、「Drive Silencer」のボタンをクリックします。
自動で表示されない場合は、CD-ROMの「Autorun.exe」をダブルクリックしてください。

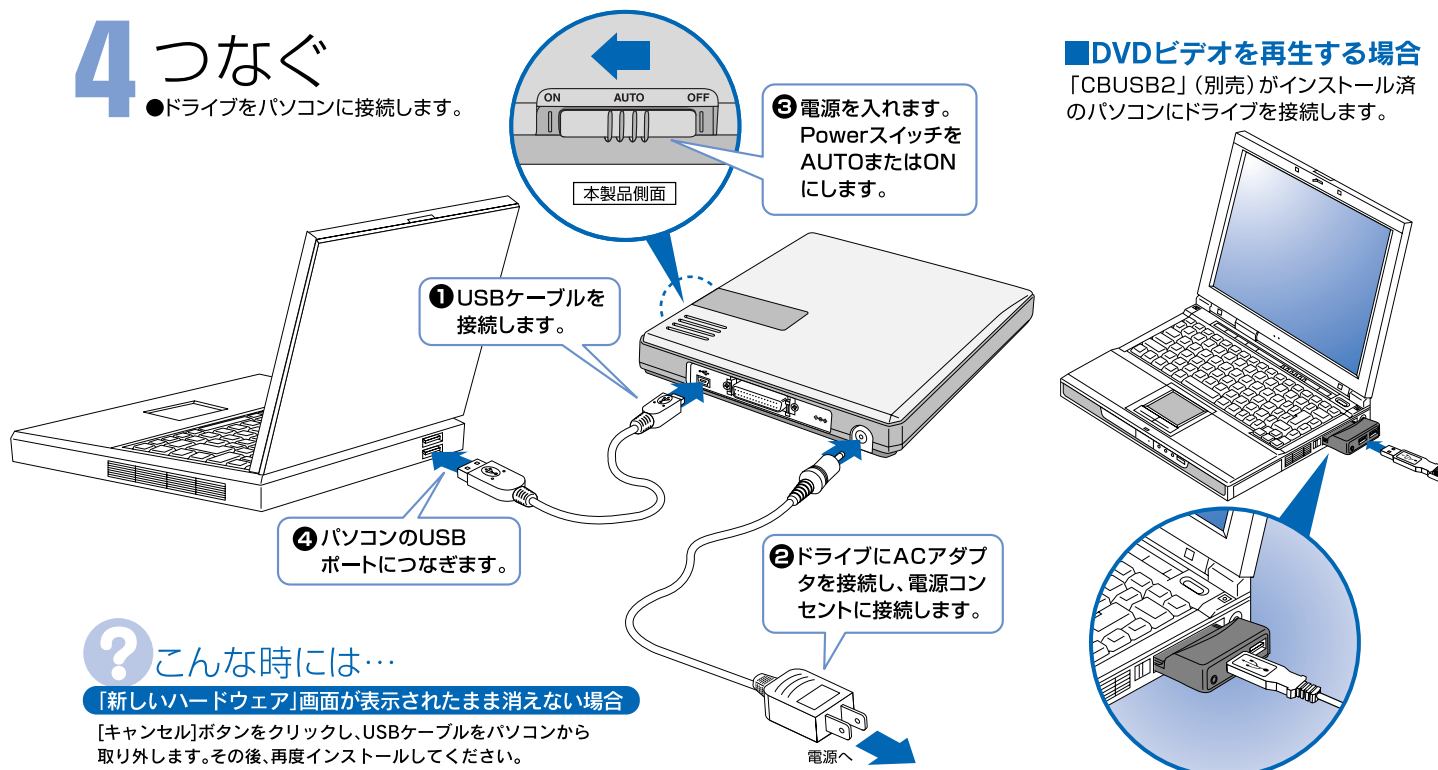
❸ 画面の指示にしたがってインストールを行います。

■ソフトウェアの詳しい使い方については、ユーザーズガイドをご覧ください。
「スタート」➡「プログラム」※1➡「I-O DATA」➡「Drive Silencer for XXXXXX※2」➡「オンラインユーザーズガイド」の順にクリックします。
※1 Windows XPをお使いの場合は、「すべてのプログラム」
※2 XXXXXXは本製品の製品名が表示されます。

4 つなぐ

●ドライブをパソコンに接続します。

❶USBケーブルを接続します。
❷ドライブにACアダプタを接続し、電源コンセントに接続します。
❸電源を入れます。Powerスイッチを AUTOまたはON にします。
❹パソコンのUSBポートにつなぎます。

ON AUTO OFF
本製品側面
電源へ

■DVDビデオを再生する場合
「CBUSB2」(別売)がインストール済のパソコンにドライブを接続します。

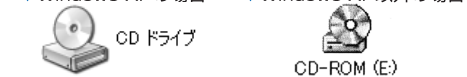
こんな時には…
「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合
[キャンセル]ボタンをクリックし、USBケーブルをパソコンから取り外します。その後、再度インストールしてください。

5 確認する

●本製品が正常に使えるかを確認します。

パソコンを起動して、[マイコンピュータ]を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、CD-RWドライブを使うことができます。

追加されたアイコン
▼Windows XPの場合　CD ドライブ
▼Windows XP以外の場合　CD-ROM (E:)

こんな時には…
アイコンが追加されていない場合
[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。

6 B's Recorder GOLD5 BASICをインストールする

※本製品に添付の「B's Recorder GOLD5」は、「B's Recorder GOLD5 BASIC」ですが、これ以降は「B's Recorder GOLD5」と記述します。

❶ 他のライティングソフトがインストールされている場合は、削除してください。
また、CD-ROMドライブを高速化するソフトウェアがインストールされている場合も削除してください。

❷ 「CDRW+DVDツールズコレクション」CD-ROMをセットします。

❸ 自動でメニューが表示されます。自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの「Autorun.exe」を起動してください。

❹ あとは、画面の指示にしたがってインストールしてください。
※インストール中、下記のシリアルナンバーが自動的に入力されます。

GOLD5 BASIC:

注意 B's Recorder GOLD5を使用する際のご注意

使用方法の詳細についてはオンラインマニュアルをご覧ください。各ソフトウェアをインストール後、[スタート]メニューの[B.H.A]内に登録されます。

- ●省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないでCD-R/RWへの書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- ●マルチセッション(MULTISESSION:セッション単位でデータを追記することです。)記録したCD-R/RWディスクの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD5」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される"使用領域"では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
- ●一度でも書き込みに失敗したCD-Rディスクは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗したCD-RWディスクは「B's Recorder GOLD5」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。
- ●いったん、「B's Recorder GOLD5」と本製品で書き込みを行ったCD-R/RWディスクに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD5」と本製品を使用してください。
- ●本製品からオーディオキャプチャを行う際にノイズが発生する場合は、読み込み速度を落としてください。
- ●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、CD-Rディスクへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- ●「JustLink」「BURN-Proof」などのエラー回避機能のチェックを外さないでください。
(ドライブによって機能の名称が異なります。)
《B's Recorder GOLD5の場合》
「環境設定」→「ドライブ設定」→「高度なドライブ設定」で、"転送速度エラー回避機能"をONにしてください。
※エラー回避機能が常時ONになっているドライブでは、「高度なドライブ設定」のボタンは表示されません。
- ●**CD-ROMドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意**
B's Recorder GOLD5が対応していないCD-ROM※の場合は、読み込み元ドライブ(コピー元)としてご利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。
※㈱ビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。
- ●音楽データを書き込んだCD-R/RWディスクを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWディスクに対応している必要があります。
- ●**[HDDバックアップ機能について]**
バックアップしたディスクを使用してHDDを元に戻すときは、本製品以外のMS-DOSで認識可能なCD-ROMドライブが必要です。

裏へ続く ➡

7 音楽CDを作る

STEP 1 WAVEファイルを作る

オリジナル音楽CDを作るには、まず、CD-Rに書き込む音楽データ(WAVE)を作ります。B's Recorder GOLD5には、音楽CDのデータをWAVEファイルに変換する機能がついています。ここでは、音楽CDからWAVEファイルを作成します。
※以下に記載する作成方法は例です。B's Recorder GOLD5の詳細な使用方法はオンラインマニュアルをご覧ください。

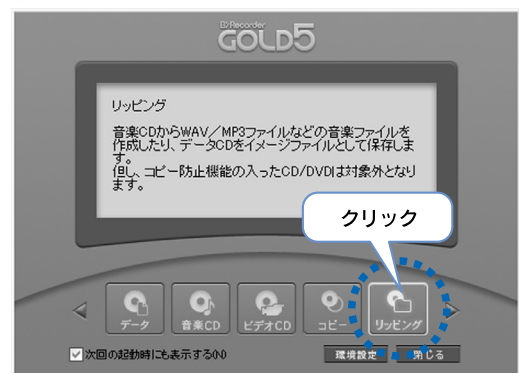
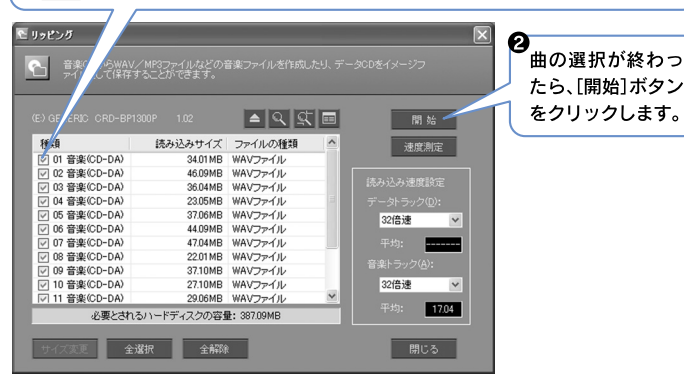
❶ 本製品に音楽CDをセットします。

❷ B's Recorder GOLD5を起動します。
アイコン をダブルクリックします。

または、[スタート]➡[プログラム(すべてのプログラム)]➡[B.H.A]➡[B's Recorder GOLD5]➡[B's Recorder GOLD5] の順にクリックします。

❸ [リッピング] ボタンをクリックします。
この画面が表示されない場合は、メニューから [メディア]➡[リッピング] を順にクリックしてください。

❹ 「CDの使用許諾条件について」画面が表示されたら、画面の指示にしたがってください。

❺ 「ドライブ選択」画面が表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

❻ 「リッピング」画面でWAVEファイルに変換する曲を選択し、[開始] ボタンをクリックします。

❼ 変換するWAVEファイルの名前を入力します。

❽ 変換が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
「進捗状態」に「正常に終了しました。」と表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。その後、「トラックのキャプチャー」画面に戻りますので [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

これでWAVEファイルができました。
WAVEファイルを保存した場所をおぼえておいてください。

STEP 2 書き込む

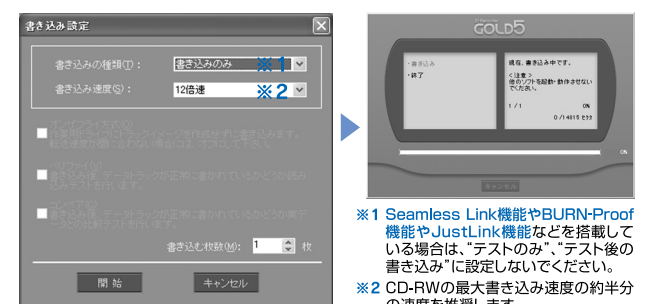
STEP1で作成したWAVEファイルを使用して、オリジナル音楽CDを作りましょう。

❶ 本製品に未使用のCD-Rをセットします。
補助画面が表示されている場合は、閉じます。

❷ 書き込むWAVEファイルを登録します。

WAVEファイルが登録されます。
WAVEファイルを登録すると、登録した合計時間が表示されますので、書き込み先のCD-Rの容量を越えないようにしてください。

❸ いよいよ、書き込みます。
ボタンをクリックすると、[書き込み設定] 画面が表示されます。「書き込みの種類」と「書き込み速度」を設定して、[開始] ボタンをクリックしてください。

※1 Seamless Link機能やBURN-Proof機能やJustLink機能などを搭載している場合は、"テストのみ"、"テスト後の書き込み"に設定しないでください。
※2 CD-RWの最大書き込み速度の約半分の速度を推奨します。

❹ 書き込みが終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
「進捗状態」に「正常に終了しました。」と表示されたら [OK] ボタンをクリックします。

これでオリジナル音楽CDが完成しました。

8 DVDビデオを再生する

●DVDビデオを見るには、添付の「PowerDVD」などのDVDデコーダが必要です。

注意 PowerDVDを使用する際のご注意
●本製品のリージョンコードは、出荷時状態で"2"に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、保証致しかねます。
●本製品添付のPowerDVDはドルビーヘッドホンに対応しておりません。

●PowerDVDをインストールする

■Windows XPやWindows 2000で使う場合は、管理者権限でログオンしてください。

❶ 使用中のアプリケーションやウィルス対策などの常駐プログラムがある場合は終了してください。

❷ 添付のCD-ROMをセットすると、自動でメニューが表示されますので、PowerDVDのボタンをクリックします。
自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの "Autorun.exe" を起動してください。

❸ あとは画面の指示にしたがってインストールください。

インストールが終了すると、「システム診断プログラムを今実行しますか?」と表示されますので実行してください。

CD-key: と自動的に入力されます。

注意 右記のメッセージが表示された場合、[はい]ボタンをクリックしてください。

●DVDビデオを見る

本製品にお手持ちのDVDビデオを挿入すると、自動的に再生されます。
これで再生できない場合は、次の方法で再生しましょう。

❶ [スタート]➡[プログラム(すべてのプログラム)]➡[CyberLink PowerDVD]➡[PowerDVD]をクリックします。

❷ をクリックして表示されたメニューから、本製品のドライブ番号をクリックすれば再生できます。

●操作パネルの説明

■操作パネル各ボタンの役割です。

注意 詳しい使用方法は、ヘルプをご覧ください。